

小田原市新しい学校づくり推進基本方針の策定に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市新しい学校づくり推進基本方針の策定
政策等の案の公表の日	令和5年10月13日（金）
意見提出期間	令和5年10月13日（金）から令和5年11月13日（月）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ、教育総務課窓口）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	67件（50人）
インターネット	25人
ファクシミリ	0人
郵送	8人
直接持参	17人
無効な意見提出	0人

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、反映したもの	3
B	意見の趣旨が、既に反映されているもの	4
C	今後の検討のために参考とするもの	53
D	その他（質問など）	7

〈具体的な内容〉

(1) 基本方針の内容に関すること (59件)

	意見の内容	区分	市の考え方 (政策案との差異を含む。)
1	新しい学校づくり推進基本方針は楽しみなものが多く、是非絵に描いた餅にならないようにできるものから、できるところから、実現してほしいと思います。	B	10年後の新しい学校のイメージが具現化できるよう、できるところから取組を進めていきます。
2	パブコメ募集の期間の短さや周知の努力が感じられず、もったいないと感じます。 こういうものこそ、せめて回覧板で回せるよう工夫すべきなのではないでしょうか。 地域住民をあえて蚊帳の外にしている感すらあります。	C	基本方針策定後、地域等を対象に説明会を実施する予定です。
3	(表について)何年にやったかわかるようにしてほしいです。(P3)	A	御意見を踏まえ修正します。
4	小田原の地域資源を生かした学びの方向性に賛同します。 私は都心で育ち、小田原に移住してきましたが、地元出身の方々に、「なんでわざわざ小田原に来たのですか?」と何回も聞かれました。小田原よりも都心に住む方が「良い」と思うようです。 学校教育で、小田原はすごいということをもっと教えた方がいいと思いました。 山川海があり、歴史があり、多様な人々がいます。育った場所をアイデンティティのコアにできるのは強いです。(P14)	B	御意見を参考に、今後も豊かな地域資源を生かした学びの充実に努めてまいります。
5	小田原だからこそできる教育とは、ナマの体験だと思います。都会にも学校がたくさんありますが、理論でしか学ぶことができません。たとえば、川で石を並べて、直線や曲線を作り出すと水流がどう変化するか、身近な川で知ることができます。 都会の子供は、1日2万円払って南足柄の丸太の森へ行き、森の働きを学習します(早稲田こどもフィールドサイエンス)。小田原の子は、身近な森を通して、理論だけ学校で教われば、SDGsも自然に実践できるでしょう。(P14)	B	学校や身近な地域をフィールドとした体験学習ができることを強みと捉え、今後も豊かな地域資源を生かした学びの充実に努めてまいります。

6	<p>地域の集会所も同様に古いのです。そして散在している集会所を少ない人々で管理し、疲弊していく悪循環。避難にも適さない、車も止められない集会所をまず学校内の防災コミュニティハウスのようなものに統合できるとありがたいです。(P23)</p>	C	<p>地域コミュニティ機能を学校施設へ複合化することや避難所機能のあり方については、地域のニーズや地域コミュニティの特色等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
7	<p>小学生の交流の場やお年寄り同士の交流の場としても活用を考えていただきたいです。曾我地区は、支所の廃止(生涯学習センターの分館機能の廃止)等によりお年寄りなどの交流がほとんどなくなってしまっています。(P23)</p>	C	<p>地域コミュニティ機能を学校施設へ複合化することや学校と地域との交流のあり方等については、地域のニーズや地域コミュニティの特色等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
8	<p>今後の学校のあり方としては「児童の学びの場」としての機能だけでなく、地域の人にとって「新しい価値を生む場」「新たなコミュニティの拠点」となり、地域の活性化にも役立つ学校になることを希望、賛同します。</p> <p>新しい学校の趣旨に合うかは分かりませんが、新しい価値を生む場として少し浮かんだものがあるので記載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の個人事業者・企業人材を講師として学校に派遣および来場依頼→「地域の多世代も参加可能な授業」とし、講師は来場者へ学びを提供する。 講師は事業 PR の場としての価値を得る。受講者である子どもたちは、将来の人材育成(お仕事のこと、経済のことへの学び)につながる価値を享受でき、地域の人々の生涯学習としての価値を提供する事にもなる。 ・地域で習い事事業をしている人が多目的に利用できるスペースを校内に設け、放課後に利用できる(学童から参加もできる)仕組みをつくり、市民参加型の新たな利用形態を確立する。また、複数の自立した社会人と通う子ども達(場合によっては外部の人が来ても良い?)との新たなコミュニティを形成する事にもなる。 ・上記のような学校内外の人の出入りや外部とのやりとりなどを専門に管理、運営を行う人を配備する。(人材については地域からも募集) <p>(もしそういった必要人材の要請があれば、是非お手伝いしたいです。)(P23)</p>	C	<p>地域に開かれた学校づくりや他の施設の複合化等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

9	<p>教員の業務が多すぎ、長時間労働が常態化して教員の身体、精神への悪影響が慢性的に起こり続けています。このため、本来の教育活動そのものの質低下、教員とひいては生徒の疲弊が起こっていると考えられるため、以下に進めていただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、教員の業務と決めつけられているものを学校関係者だけの閉じた範囲で抱え込まず、独占せず、民間の力を活用する。 <p>例：テストの丸付け等、機密保持を前提にすれば委託出来るものは民間に委託する。NPO、高齢者、教育支援員等をもっと活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、特に地域交流に係るようなものはゼロベースで見直し、本当に教育に必要なもののみ残して後は民間委託する。イベントに拘って教員が超過勤務になるなら本末転倒。 ・前記、イベント開催も含め超過勤務分は対応した手当を支給する。支給出来ないなら、本来的にその価値の無い業務をさせている事になるので、取りやめるべき。(P26) 	C	<p>教職員の働き方改革については、御意見を参考に、引き続き取り組んでまいります。</p>
10	<p>文部科学省の整備指針は、新しい学校づくり施設整備指針ではないため表現を改めたほうがいいです。(P28)</p>	A	<p>御意見を踏まえ修正します。</p>
11	<p>(2) 学校施設の整備と管理については、主に設備などのハードウェア面を検討事項とされていますが、それだけでなく学校と保護者との連携や、情報開示など、ソフト面も併せて検討していただきたいとのお願いです。(P28)</p>	B	<p>整備指針策定時に、管理運営のあり方(ソフト面)についても併せて検討していきます。</p>
12	<p>方向性の中で、「教職員の負担が大きい」と記載されています。教職員の方々が教育に専念できる環境は、教育の質を高めるためには重要と考えます。業務の見直し等、組織的な見直し、工夫も大事ではないかと思えます。(P28)</p>	C	<p>教職員の働き方改革については、御意見を参考に、引き続き取り組んでまいります。</p>
13	<p>学校配置について、通学距離が長くなる世帯が納得できるような教育の質を担保すべきです。遠くなくても、教育の質が上がるなら通わせようと思えるようにすることが必要です。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、教育の質の向上の視点も重視しながら、基本計画の中で検討していきます。</p>

14	<p>この度、地域の曾我小学校の存続を切望致したく、私の意見を述べさせていただきます。</p> <p>少子高齢化が顕著にあらわれている地域ですが、それだけに地域住民は子供達との関わりに重さを感じ、見守り接しています。一緒に運動する機会には楽しくて仕方がないのです。</p> <p>近年は少しずつですが、新規住宅が建ち、幼児が増えています。彼らが安心できるのは学校が近いからです。歩いて通学出来るからです。</p> <p>この地域は元気な高齢者が多く、また、彼らが時間を持て余している現実もあります。</p> <p>少子化で、教室が空いているのであれば、高齢者の経験や趣味を生かす場になればいいなと思っています。サークル活動ですね。しかも、子供達と一緒にできる、子供達に大人達からの知恵や知識を楽しく伝授できる場、子供達が楽しく興味を持って伝統に触れる場ですね。核家族化している現在では、あえて機会を作らなければ、知ることも経験も出来ない宝の体験をさせてあげたいのです。</p> <p>未来を担う大切な宝達に最も必要なのは、黒板に向かう姿だけでも、タブレットを使いこなすだけでもなく、もう一つ、若き教員からは決して得ることは出来ない、長い人生の経験者からの、生きた教訓を伝授してもらうことだと思います。机上以外の教育の場、人等、材料は地域にたくさんあるのではないかと感じています。おまけに少人数の学校ですから、見る目も助ける手もたくさんあって安心できますね。小学校は地域の希望の宝となっている今、未来に向けて躍進できる可能性を大いに秘めている財宝です。</p> <p>是非、当たり前にある曾我小学校を、これからも当たり前にある曾我小学校であり続けられるように、希望の灯火を消さないで下さい。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画や他の公共施設の複合化等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
15	<p>曾我小の存続を希望します。地域がさびれてしまうので。曾我地区は農協も支所もなくなってしまいました。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

16	<p>私は曾我小の卒業生です。曾我小学校の火災(昭和49年)これは曾我地区に大きな不安と悲しみを残し、幾つになっても記憶に残っている。悲惨な事故を二度と起こさぬよう努力してきた曾我小学校を今後も残して下さい。</p> <p>小田原市曾我なんと良い響かこの地に小学校が存在する。曾我小学校がなくなる事は曾我地域がなくなるのと同じだ。残して下さい。</p> <p>曾我支所閉鎖、農協曾我支店閉鎖、曾我小学校廃校、この地のランドマークがなくなる。曾我小学校は是非残して下さい。</p> <p>曾我小学校は西の方向に立派な富士山が見えます。小田原市でもこのような立地条件の良い小学校が存在しますか。曾我小学校は残して下さい。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
17	<p>曾我小は実験的な実践校としてのモデル校となるのに良い条件を沢山もっています。また、基本方針の各テーマも小規模校だからこそ、小回りが効き実現に繋げやすいし、少子高齢化のわかりやすいモデルになります。</p> <p>第一に豊かな環境を移転することはできません。失われたら最後です。</p> <p>曾我小は小田原市の郊外に位置し、自然豊かといったわかりやすいメリット以外にも防災などの立地面のメリットもあります。広大な校庭、周囲も含めた敷地も開けているので防災拠点として備蓄や避難場所として再整備しやすいです。校庭の水はけも抜群で先達が最適な地に校舎を建てたのだろうと推察できます。高速道路からも近いです。不登校や発達に課題を抱えた子供達もふところ深く受け入れられるのびのびした環境が曾我小には土台としてあると思います。地域にいる私達も、応援できることがあればします。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

<p>18</p>	<p>年々児童数が減少しており、統廃合されるのでは、と危機感を持っています。自身には子供が2人おり、上の子は今高校生ですが、曾我小学校で学び、下の子は現在曾我小生徒として学んでいます。豊かな自然環境や地域の産業（梅、ミカン、稲作など）、また地域の方々の協力があり、稲作を田んぼで一貫して体験学習ができ、梅干し作り、ミカン収穫体験によって流通や栽培など多角的な学習が可能な数少ない小学校です。</p> <p>自分が通っていた小田原市立小学校の周りは田んぼに囲まれていましたが、稲作学習や収穫作業の体験などは無く、学校の近くの小川で魚やオタマジャクシを捕獲する生物学習くらいで、他に特に特徴などなく、一般的な授業を受けた記憶しか覚えていません。全く勉強が楽しくなかった事を覚えています。</p> <p>曾我小学校には机上では得られない“体験“があり、五感で学べる学校です。人数が多いクラスでは教える事に時間を割かれがちですが、少ない人数であれば、グループディスカッションの時間を捻出出来る可能性は高くなります。実際、曾我小学校ではディスカッションをしているクラスがあります。（やるやらないは先生の指導方針によって、だと思いますが）</p> <p>先生から一方的に知識を受けるのではなく、様々な意見や考え方を知り、解決や最善に導くために論理性、強調性など培われます。</p> <p>では、統廃合されたら、どうなるのでしょうか？登下校は？体験授業は？少ない生徒に対して先生の人件費や建物の維持費などもかさみます。</p> <p>ではなぜ生徒が増えないのか？市街化調整区域の為簡単には人口が増えません。</p> <p>そこで、小規模特認校をお願いしたいのです。</p> <p>曾我小学校のもつ良さがあります。実際、大人数の小学校で嫌な思いをした保護者さんは、少人数で学年関係なく関わりを持つ曾我小学校に魅力を感じ、自身のお子さんを通わせたいと引越しして、現在通わせているそうです。</p> <p>しかし、親族が居たから居住を構えることが出来たわけで、そうでない方にはハードルが高いでしょう。</p> <p>小規模特認校なら片浦小学校がありま</p>	<p>C</p> <p>小規模特認校の今後の方向性も含めた地域単位の具体的な配置計画については、地域の実情等を踏まえた上で、学校施設整備・学校運営に要する費用等も総合的に勘案し、基本計画の中で検討していきます。</p>
-----------	---	---

	<p>すが、あちらは楽器に力を入れている印象があります。</p> <p>曾我小学校は豊かな自然環境と地域の協力で五感で感じる授業が特徴です。</p> <p>曾我小学校を第二の小規模特認校として検討していただきたいと切に願っております。(P37)</p>		
19	<p>曾我小学校は、地域にとって大切な学校であり、地域の活性化になくってはならない施設です。児童数だけを考慮しての統廃合は反対です。地域活動をする中でも地域住民、特に、お年寄りからも小学校の存続の声を聞きます。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
20	<p>○曾我小学校は、曾我地区の拠点としてなくてはならない存在です。そのために、曾我小学校学校運営協議会では、地域住民と意見交換会を開催し、次のような意見をまとめました。</p> <p>◎子どもたちが生き生きと学習し続けることができる学校に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数の”良さ”を生かそう！ ・豊かな「地域素材」・「地域人材」を生かし、さらに特色と魅力ある学校に <p>例) 稲作やジビエで地域地産地消教育 ICT活用のパイロット校 小規模特認校や一貫教育(保・小)</p> <p>◎地域の活性化に役立つ曾我小に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習やコミュニティの拠点に！ ・子どもたちの学習に役立つとともに、他地域にまだない価値のある施設に <ul style="list-style-type: none"> ・施設機能の共有化 <p>例) JAと支所機能の共有 音楽や映像作り等の文化活動や新しいニーズに対応できる施設 生涯学習センターの分館機能</p> <p>○曾我小学校は、小規模校であり、地域の特色もあるので新しい学校づくりの先進的な取り組みができると考えます。</p> <p>○学校施設の適正規模・適正配置だけで考えられると曾我地区は、支所も農協もなくなり地域住民のサービス機能の低下・地域防災機能の低下を招き、過疎化が進んでしまいます。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画や地域の特色を生かした学校づくり等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

21	<p>今曾我地区に住んで思うこと、児童数の減少のためか1年生の小さな女の子が3年生以上の男の子の集団の登校班で途中までと思われるが通学していること。新1年生の男の子が1名だったこと。子供会が解散?になったこと。(老人会も解散?になったと聞いています。)曾我に住んで12年ほどですが、支所がなくなり、農協も合併により遠くなり、バスも減り、子供たちも環境の変化を感じていることと思います。</p> <p>そこで小規模校の強みを生かしてICT活用のパイロット校になり、希望する子供を受け入れることを提案します。生涯学習センターの分館機能を校舎内または隣接地にて共有することにより、人々の交流が生まれたいと思います。</p> <p>災害時の避難所だけでなく、あらゆる世代の住民にとっての先進的で必要な場所となる曾我小学校の存続を希望いたします。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画や他の公共施設の複合化等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
22	<p>曾我小学校の存続を願います。地域的に見ても子育て世帯が少ないので、新たな家が建てば小学生も増えると思います。小規模学校でも魅力ある学校になってほしいです。今年の夏休みのプールをスポーツプラザ報徳で行ったことも良かったと思います。少人数の学校だからこそできたのではないですか。プールの水の節約になります。閉校にでもなると、小学校もないところに子育て世帯が新しい家は建てなくなり、地域的に老人ばかりになります。今現在もバス停はあるのに昼間はバスが通らないところに住んでいます。今後過疎の村になってしまいます。明るい未来を期待します。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、今後、基本計画の中で検討していきます。なお、スポーツプラザ報徳での水泳授業及び夏休みのプール開放は、桜井小学校でも実施しており、民間活用を含めた水泳授業のあり方については、今後全市的に検討していきます。</p>
23	<p>曾我小は小規模だからこそ、子供一人一人に目が行き届いていると感じており、親として安心感があります。</p> <p>稲作の授業は、地域の協力なくしては出来ない貴重な学習であり、地域の方の子供たちを想う気持ちがあってこそ成り立っています。</p> <p>コロナの期間を経て、今、ようやく地域との関わりが今までのように持てるようになりつつあり、また、地域の方々も</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画や地域の特色を生かした学校づくり等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>子供たちとのふれあいを楽しみにしてくれているところだと思います。</p> <p>地域の方々と密接に関わっている曾我小の存続を願っています。(P37)</p>		
24	<p>地域の拠点としての存続を希望いたします。(災害時の避難所や地域活動等に) (P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
25	<p>曾我小学校に二人の子供を通わせています。曾我小学校は子供達にとっては大好きな場所であり、また地域の方達にとってもなくてはならない学校です！！ (P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
26	<p>曾我小学校は地域の特色をいかした教育がされています。特に稲作づくりでは、子供たちが田んぼで種まきから稲刈りまで行っています。また、たくさんの地域の方も協力しています。地域で栽培されているみかんや梅なども子どもたちが見学したり生産者から話を聞いたりして学習に生かしています。</p> <p>曾我小学校は、少人数ですが、その点を生かした教育もされており、子どもたちは生き生きとした学校生活を送っています。</p> <p>曾我小学校は、地域防災の拠点、地域交流の場(体育祭・地域交流活動・地域サークル活動等)、地域団体の会合の場(曾我支所並びに生涯学習センター分館の廃止による)として、地域にとって大切な中心拠点としてたくさん活用されています。</p> <p>以上の点からも、地域にとって大切な曾我小学校の存続を希望します。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画や地域の特色を生かした学校づくり等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
27	<p>「小田原市新しい学校づくり推進基本方針(素案)」を拝見して、地域との連携を重視する視点や、やがて人口減少を迎える小田原市の将来を見据えた計画であることは評価できるが、全体的な方向性として、児童数の減少と学校施設の老朽化への対応、学校経営にかかる管理運営経費の負担軽減を主な目的として「新しい学校づくり」が行われるような印象を感じました。</p> <p>私が居住する曾我地区のように児童数が少なく、教職員配置などの点で「効率の悪い」小学校は、今後の「推進基本計画」策定の中で、廃校となり他校と統合されるのではないかとの懸念を感じま</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、子供たちにとって望ましい「学びの規模」を考慮した上で、地域の実情等も総合的に勘案し、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>した。児童数の多少により学校存続が決められるとするならば、曾我小のように校区の大部分が市街化調整地域で、住宅の増加などによる人口の社会増がない地域は極めて不利となります。</p> <p>令和3年6月に策定された『小田原市農業振興計画』の中に、「市民アンケートの結果の6割は「都市農地が必要」との意見であり、(中略)市民から都市に農地を残すことが期待されています」との記述があります。また市の農業政策の中で曾我地区は農業振興地域に指定されているため、住宅建設も制限されその結果児童数の増加が見込めません。政策的に住民が増加し難い仕組みを課しながら、児童数の少なさにより小学校が廃校になるならば、行政は地域住民からの信頼を失うことになるでしょう。</p> <p>仮に廃校となった場合、子育て世代は小学校が存在しない地域に居を構えることを敬遠し、ますます人口の減少を招き地域は荒廃します。健全な農業地域を存続させるためにも小学校の存続は必要です。なお、存続させるためには更なる地域住民による支援は勿論です、市当局にも曾我保育園との併存、小中一貫校、また小規模特認校など、単に現状のまま存続させるだけではなく、地域の特性を活かした「新しい学校づくり」を追求して頂きたいです。(P37)</p>		
28	<p>建物を維持することは難しいと思います。改築・改修を行うことは必須であり、そこに多方面の方針を盛り込むことは理解できます。</p> <p>基本方針(素案)に記載の川東北部の特色ある取組については曾我小では全て関わりがあります。</p> <p>稲作については、苗作りから日頃の観察、生育状況に合わせた環境作り、稲刈り、脱穀と全工程を児童が行っております。また、そこには地域の農家の方々のサポートをいただいています。それ以外にもたまねぎ収穫やみかん農家さんへの見学や体験等もあり、自ら体験し地域の方々との交流もあり、それが豊かな心の成長にもつながっていると感じています。</p> <p>さらに小田原特産の梅干し作りに関しても地域の方に講師をしていただいて、梅の種類や歴史なども踏まえ収穫から作り方まで。その上で、自分で梅干しを</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画や地域の特色を生かした学校づくり等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

<p>つけてコンクールに出品するなど、なかなかできない経験を行っていた経緯もあります。</p> <p>また、米作りの延長として、わらを活用したわらじ作りなどの貴重な経験を行っておりました。</p> <p>毎年秋にはPTA主催ではありますが、イベント（曾我っ子フェスティバル）を実施しており、小学生の保護者だけでなく地域の方々も出店や参加ができる形となっており、まさにこの地域ならではの良さが生かされていると思います。成長していく中で一番大切な小学生の6年間で、春夏秋冬の季節の移り変わりを感じながらその中で体験し、家族以外の地域の方々との関わりやつながりを持つことはとても重要で大切と感じています。</p> <p>小学生期の様々な多くの体験が引出しとなり、その先の知識や表現力の幅が広がることと信じています。</p> <p>そのためには曾我小のような取組があるべきだと思います。(P37)</p> <p>元気のある子供たちが通っている曾我小。その子供たちを見守る曾我地域の方々。そんな地域の方々も曾我小にお世話になっております。支所がなくなっただけから曾我小の体育館、コミュニティルームを使用し色々な活動を行っております。</p> <p>「小田原市新しい学校づくり検討委員会」が発足され、曾我小学校学校運営協議会においてもいろいろと考えて、活動を行ってまいりました。また、学校運営協議会のメンバー、曾我地域の連合自治会、小学生の保護者等で集まり話し合いを行っております。</p> <p>現曾我小の子供たち、そして未来の曾我小の子供たちを最優先とした考えを保ちつつ、地域の方々もコミュニティの場とさせてもらい小学生と交流を深められる曾我小学校のあり方を提案できるよう話し合っております。</p> <p>最後に、小田原市中の小学校から一番きれいに見える富士山は曾我小学校とっております。是非富士山をバックに曾我小学校を見ていただき、今後の方針づくりの参考にさせていただけると幸いです。(P37)</p>	
---	--

29	<p>小田原市では、新しい学校づくり推進基本方針の策定作業を行っていますが、その中で、適正規模での学校づくりが検討されているようです。そうすると小規模校である曾我小学校は、統合対象になってしまいます。しかし、曾我小学校は地域と密接な関係があり、地域にとってなくてはならない施設でもあります。支所の廃止や生涯学習センター分館の廃止がされた現在、ぜひ、小規模特認校制度を活用した曾我小学校の存続を強く要望します。(P37)</p>	C	<p>小規模特認校の今後の方向性を含め、地域単位の具体的な配置計画については、地域の実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
30	<p>私の居住する曾我地区は、昭和31年の市町村合併で、曾我村は小田原市に合併する地区と、大井町に合併する地区に村が分村いたしました。少人数ながら「おらが小学校」に対する地域住民の思いは熱い物があります。</p> <p>学校の児童や建物は曾我地区の皆さんの地域の文化の核と言えます。学校と地域住民のつながりは、</p> <p>①授業の協力や支援：農業体験で、種まきから収穫、餅つきまでの稲作体験／梅干し作りの学習／みかん狩り、サツマイモ掘りなどの学習体験</p> <p>②学校環境整備への協力：樹木剪定への協力（おやじの会、社協の皆さんなど）／稲作田の管理（おやじの会）</p> <p>③学校行事への参加協力：「フェスティバル」等への参加／下校時の安全パトロール</p> <p>児童とのふれあいから生まれる行動、言葉や表情が地域の皆さんに活力を促し、元気を与えています。</p> <p>このような前提に立って、小田原市の「新しい学校づくり」を考えました。過疎化し、住民には将来への期待が薄れる現状の中で、学校の存在は「地域文化の核」として、存在してほしい願があります。そのためには、地域文化を担う複合施設として、新たな学校のあり方をお考えいただきたいと思います。</p> <p>①保育園（学校に隣接する）の併設：幼保教育と小学校の連携も視野に</p> <p>②市役所の支所（不定期開設）、地域公民館の併設：新しい地域の公共施設のあり方</p> <p>③ミニコンサートができる小さなスタジオ：音楽愛好者の練習や発表の場、園児児童の学習発表の場</p>	C	<p>地域コミュニティ機能を含めた他の施設を学校施設へ複合化することや地域の特色を生かした学校づくり等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>④在籍数の議論だけでなく、「地域文化の核」としての役割が子供も大人も社会にも価値があるという視点も</p> <p>学校は、児童の人格の完成が目的ですが、地域の皆さんにとっても、学校の存在が生涯にわたる人格の完成に素晴らしい力を与えてくれています。新しい学校づくりの「新しい道筋」を御検討くださいますよう御期待申し上げます。(P37)</p>		
31	<p>私の住む地区の曾我小学校は小田原市内では一番児童数が少ない小規模校です。今回の「新しい学校づくり推進基本方針」の内容によっては、統廃合により廃校になってしまうのではと危機感がありました。曾我地区では、曾我支所の閉鎖、農協曾我支店の統合による移転など、地域の中心となってきた公共施設が次々と閉鎖され、さらに小学校が廃校になってしまっは地域コミュニティが破綻してしまうのではと恐れていました。しかし、「新しい学校づくり推進基本方針」を読んでみて、学校が目指す姿や問題点等が大変分かり易くまとめられていて勉強になりました。また、私が心配していることも含め様々な課題について丁寧に議論を進めていく内容であると感じました。私も曾我小学校のOB（おやじの会の一員）として小学校の活動に少しは参画していますが、今まで以上に曾我小学校が魅力ある学校であり続けられるように様々な活動に参画していかなければと改めて感じています。さて、この基本方針について一点お願いがあります。基本方針では10年後を見据えて作成されていますが、これから迎える少子高齢化の進展を考えれば30年後を見据えた検討も必要ではないでしょうか。曾我小学校から北にわずか200mほど進めば大井町との行政区境になります。過去には小田原市と大井町との共同組合立小学校として存在していた歴史もあると聞いています。広域化などの行政区を超えた新しい学校の在り方についても検討していただきたいです。(P37)</p>	C	<p>広域連携（組合立学校）の導入等、学校制度の見直しも含めた地域単位の具体的な配置計画については、地域の実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

<p>32</p>	<p>子供が曾我小学校へ通っています。年々、人数も減りつつあり、人数的に心配なことはあります。しかし、それは曾我小学区が、市街化調整区域であることで新しい家が増やせないということも一理関係しているとは思いますが。そこの打開策も何かないもののでしょうか。</p> <p>子供たちが通っている姿を見ていると、自然豊かな学校で一人ひとりが大切にされている学校だと感じております。この学び舎を人数に限らず、いろんな視点からみていただきたいと強く思います。よろしくお願いします。(P37)</p>	<p>C</p>	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
<p>33</p>	<p>かつて私は小田原市内の別の地区に住んでいましたが、曾我小学校学区へ戸建てを経て移住しました。曾我小学区へ移住を決断したのは、見渡す限りの田畑などの豊かな自然もさることながら、すれ違った児童が元気に「おはようございます！」と挨拶してくれた事もきっかけの一つです。まさか児童が挨拶してくれるなんて！と心底驚いたことを今でも覚えています。</p> <p>豊かな自然と地域とのつながりが、子どもたちの温かさを育てているのではないかと思い、「この地区で子育てしたい」「曾我小学区内へ移住しよう」と決断し、今に至ります。</p> <p>さて、曾我小学校は小規模校です。入学児童の数は年々減少していることもあり、学校が統廃合されてしまうのではないか、この自然と地域と切り離された学業生活となってしまうのではないか、大変不安に駆られています。</p> <p>曾我小学校区ならではの体験が、今の曾我っこのあたたかさを育てています。例えば土づくりから収穫まで一貫して学ぶ児童の稲作。自然に素手で触れ、どろんこになって大地を踏みしめ、田んぼの生き物に親しみます。そういった機会は、令和の行き過ぎた経済活動や暮らしの中では大変貴重です。</p> <p>また、稲刈りや脱穀の場は、子ども達とボランティアの保護者の方々やおやじ会の方々といった「地域の人たちと学業活動をつなぐ交流の場と」なっているよ</p>	<p>C</p>	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>うに思います。 子どもにとっても大人にとっても、日頃の生活の分度を引き直して自然環境と調和を図る場となっているのではないかと考えています。 杉崎農園さんのみかん狩りでは、杉崎さんからみかんをいただき、子ども達は自立した地域の大人から優しさの学びを享受しています。 こういった自然環境・人間関係の豊かさが曾我っこの温かさを育てているのだと思います。 この曾我地区でも子ども会が休止となる地区もあり、「自由」の言葉とは裏腹に「無責任」「無関心」が増えてしまっていると感じています。 その為、学校が地域をつなぐ最後の砦だと感じています。</p> <p>その最後の砦として、これまで構築されてきた学校・子供達を拠点とした地域コミュニティがありますが、もし統廃合されてしまった場合、地域の間人間関係はますます希薄化し、おそらく崩壊するのではないかと思います。 そして、稲作や地域で培われた文化や歴史の継承は薄らいでしまうと思います。</p> <p>長くなりましたが、曾我小学校の存在が地域の人々を繋いでいます。 「地域活性化に役立つ曾我小」としてすでにその意義が確立されている取組があります。ぜひ安易に統廃合してしまわず、この循環を無くさないでいただきたいと思っています。(P37)</p>		
34	<p>曾我小は小田原市の環境もアピールする学校ではないかと思います。 学校の景観には富士山があり又周辺には田畑あり小田原にある学校の中で一番ロケーションが良いと思います。 地域の特性を生かした稲作体験(全ての行程が行われているのは唯一曾我小のみ)、地域の協力を得て学習しています。 主食の米、体験学習を学ぶことは日本の文化も守るという意味でもあるのではないのでしょうか。</p> <p>秋に例年行うPTA主催のイベントには地域の人も合同で開催しとてもにぎやかでコミュニケーションがとれる場所でもあります。</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画や地域の特色を生かした学校づくり等については、地域の実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>人数が増えない要素として学区内の土地が市街化調整区域であり家が新たに建たない為、地域の特性と環境を生かし、例えば曾我保育園との一貫校・小中一貫校・複合施設との共存・障害者学級等の特認校・スポーツ校（周りが水田でかつ交通量も少なく見透視が良い為に事故や防犯上も良い）・又、音楽、IT等の専門校等も良いのではないかと思います。</p> <p>今まで地域（自治会・各種団体・他）の話し合い・報告・議論・集まりの場所、曾我支所がなくなりそして曾我農協の移転、人の集まる拠点が無くなって追い打ちをかけるように曾我小の問題、何としても存続させなければ地域が衰退してしまう事が懸念されている。</p> <p>子供の成長に大事な課程を曾我地域の環境や地域の人に守られ健やかに成長し、かつ地域の活動拠点でもありますので曾我小の存続は必要であると確信しております。</p> <p>学校運営が円滑にできるようにと先生方の負担が軽減されるようにおやじの会も結成（曾我小のOBやPTA会員）されていて活力ある学校です。</p> <p>現在私は曾我小の学校運営協議会の一員でもあり地域の曾我小のあり方を進める有志団体「曾我小未来プラン」にも属しており定期的に会合を開き意見を出し合ったりしております。（P37）</p>		
35	<p>「学校施設の将来的な再編」という語句や、「10年後・年後の学校児童生徒数・学級数の変化」の表、及び「学校運営に要する経費」の説明などからは、「効率」という言葉が連想され、児童生徒数の少ない小中学校が統廃合されるという悲観的な印象を受けます。私の住んでいる地区にある曾我小学校は、R14年には児童数が最も少なくなり、真っ先に廃校の対象となるのではないかと、という不安を覚えます。</p> <p>一応、「少子高齢化や人口減少等により子供たちを取り巻く環境が変化しても、持続的で魅力ある学校教育が実施できるよう、学校配置や施設の維持管理、学</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、子供たちにとって望ましい「学びの規模」を考慮した上で、地域の実情等も総合的に勘案し、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>校間の連携の在り方について検討が必要である」と書かれていて、少子高齢化や人口減少の甚だしい地区の小中学校が必ずしも統廃合されるとは限らないと言っているようにも読めますが、それが明確に示されていないので先の不安は払しょくされません。</p> <p>小学校が無くなると、その地区の児童だけでなく若い保護者の方も減り、高齢化がさらに進むという悪循環に陥るように思います。</p> <p>私は自治会長を務めていますが、高齢化と自治会活動に対する無関心な人の増加で、自治会活動の維持に危機感を感じています。小学校が無くなり、児童と若い保護者が減るとますます活動が難しくなり、行政からの委託事業の引き受け手がなくなることや高齢化が進んだ他地区の分の業務も引き受けざるを得なくなり、自治会の負担が大きくなることを危惧します。</p> <p>行政サービスの地域間格差を広げないようにするため、曾我小学校を含めて、単純に、「効率」の名の下に、少子高齢化や人口減少を将来的な再編の理由にしない、という方針を明記していただくことを強く希望します。(P37)</p>		
36	<p>曾我地区には、児童数の少ない曾我小学校を地域で温かく見守っていこうという雰囲気強くあります。</p> <p>同じ小学校を卒業した人がいるという安心感が地区連合会や地区社協等の会合に参加する際の精神的な敷居を低くしていると感じます。それを「しがらみ」とか「束縛」と感じ、嫌う人もいます。災害が発生した時などはこの安心感は重要だと思います。曾我小学校の廃校はこの地域コミュニティを壊すことに繋がります。</p> <p>『新しい学校』は、これまで『子供たちの学校』としてきた場を、生涯にわたる『みんなの学びの場』に再構築し、とあるように、現在の地域コミュニティを壊さず、よりよいものにしていく方針を希望します。(P37)</p>	C	<p>地域に開かれた学校づくりを含めた、地域単位の具体的な配置計画については、地域の実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

<p>37</p>	<p>学校建物・施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所（学習センター）があった時は、週2回程度ストレッチ体操をする団体が使用していましたが、使用できなくなったことで、解散してしまいました。（市はみのり館の使用を勧めましたが、申込が複雑かつ煩雑、さらに有料で申込の制限がありました） ・この他、自治会連合、地区社協、体育振興会、民生委員・青少年育成会等の会議の場がなくなりました。 ・一部の団体は小学校内のプラザを利用しています。 <p>地域防災の拠点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年前の9月、台風襲来の進路にあたり、防災部より避難指示の発令がありました。その際、90名強の避難者が来ましたが、中には他地区の避難所が既に満杯状態だったためこちらに来た方もいました。 ・曾我地区は、小学校から近い場所に市の一次避難場所が曾我大沢に1か所（民間施設）があるだけで、しかも数名程度しか対応できません。残念ながら、曾我地区には他の公共施設がありません。 ・市街地であれば、徒歩で避難が容易に可能かもしれませんが、曾我地区は高齢者が特に多く、避難所までの距離があります。 <p>いずれにしろ、10年後を見据えると…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在でさえ、高齢化率が曾我地区で全体の60%越え、特に3団地では70%を越えている現状です。 ・さらに、自治会自体の存続が危ぶまれる中で、現在の子供の見守り等の実施がままならなくなることも考えなくてはなりません。 ・世代間交流がなくなってしまう、ますます活気がなくなります。 ・働き方改革から考えても、放課後児童クラブがなくなると特に、女性が仕事に出る際に放課後の児童を預かることができなくなってしまう。 ・よって、小学校の存続を考えると特認校制とすることが望ましいと思います。仮に、廃校になった場合は千代小学校か下曾我小学校に通うことになる想定されますが、2km以上になるので、通学にはバスを利用することになり不便になってしまいます。（P37） 	<p>C</p> <p>小規模特認校の今後の方向性や地域の防災機能のあり方を含め、地域単位の具体的な配置計画については、地域の実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
-----------	---	---

38	<p>曾我小学校が完全になくなるのは困ります。</p> <p>確かに、曾我地区において人口減少は否めず、学校施設の維持費やコストがかかるのは分かります。</p> <p>いずれ曾我小学校も、何らかの措置が必要になる、とは感じています。</p> <p>ただ、曾我支所がなくなり、交通の便も悪い中、高齢者が多く居住するこの地域では、唯一の集いの場所でもあり、曾我地区全体の広域避難場所でもある小学校がなくなるのは非常に困ります。</p> <p>仮になくなって、広域避難場所が中学校になった場合、災害時に誰が遠くまで高齢者たちを連れ出すのですか。</p> <p>小学校がなくなれば、今後若い世代の人たちも（実家の跡継ぎでさえも）曾我に住みたくなくなります。</p> <p>児童がいなくなっても、小学校は残し、地域の集いの場所（コミュニティ）として残し、地域で管理運営ができるような場所になればいいと思っています。</p> <p>自身も、いつか地域コミュニティを曾我に作りたいと思っている一人ではあります。</p> <p>地域の人たちを地域で支える、これが理想です。</p> <p>その場所は、必要です。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画や他の施設の複合化等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
39	<p>万が一、曾我小学校がなくなることになったら、本当に寂しいです。</p> <p>少ない人数で学べることは、とても贅沢なことだと実感し、感謝しています。</p> <p>(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
40	<p>他の地区でも地域の過疎化といった問題はもちろんあるかと思います。</p> <p>ランニングコストがかかるのも分かります。</p> <p>子供の数が少なくなり、維持が難しくなるでしょう。</p> <p>でも、せめて体育館とグラウンドだけは残してほしい。</p> <p>先日、曾我のバレーボールクラブが全国大会でベスト 16 となりました。快挙です。</p> <p>これは、地域の方たちが子供たちを小学生のころからバレーボールを教えあげ、今、その子供たちが地域に戻ってきて、クラブ活動として曾我小学校の体育館を使い、日々練習に励んでいる成果でもあります。</p> <p>子供たちも、私たち世代の子供が戻って</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>きているように思います。 地域の人たちの活動拠点やコミュニティの場をなくさないようにしてほしいです。(P37)</p>		
41	<p>曾我小学校の存続を希望します。 万が一、児童がいなくなったとしても、広域避難場所がなくなるのでは…という心配があります。 みのり館では遠くて、近所の高齢者の方たちが心配です。 各公民館を一掃して曾我地区のコミュニティ施設として残すにしても。規模が大きすぎてそれだけの収容施設ができるかが不明です。 もともと市街化調整区域に指定され、アパートやマンションの集合住宅が増えないことに問題があるわけでも。親の土地があってもインフラ整備がどんどん衰退していっています。 私たち住民のせいではないです。 子供たちも、住みづらい・都内に通いづらい、だからここには住んでくれません。とても寂しいです。 私たちの曾我が、どんどん衰退化していくのは、本当に寂しい。(P37)</p>	C	<p>地域の防災機能のあり方を含め、地域単位の具体的な配置計画については、地域の実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
42	<p>曾我は年々子供たちの人数が減ってきてはいるけれど、0ではないし、まだ通っている子供たちがいます。これから入学予定の子供たちもいるので、少人数の学校運営ができるように工夫する、空いている部屋の貸出しをするなど、いろいろな使い方を考えてもらって校舎を残していけるといいなあと思います。 先日、文科省が発表した、2024年度からギフテッドの子供たちの受入れ体制を作っていく、ということを知りました。 曾我小学校をギフテッド専門校にしたらどうでしょうか。その子供たちに特別授業を教える先生たちは、定年退職した教員の方々をあてる、とか。 (ギフテッドという言葉が正しいのかは分かりませんが) 特異な才能のある子供たちを小学校の空き教室を使い、受け入れていく、など。(P37)</p>	C	<p>インクルーシブ教育のあり方や学校制度の見直しも含めた、地域単位の具体的な配置計画については、地域の実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
43	<p>曾我小学校に通っていた頃は、地域と関わることでよい学びを育むことができました。 小学校の教員として働いている今も、曾我の地域密着型の学習はうらやましい限りです。 家庭を持ち、曾我に帰ってきた今、我が</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>子を通わせたい小学校です。</p> <p>また、自身もバレーボールで地元の仲間と曾我を代表してプレーしている中、学校施設及び体育館がなくなってしまうたら残念でなりません。</p> <p>地域との連携を図り、曾我小学校が継続できる道を是非とも考えてほしいです。</p> <p>(P37)</p>		
44	<p>曾我地区は高齢者が多く、小学校がなくなってしまうことで若者がさらに住みにくさを感じ、町を離れて過疎化が急激に進むことが懸念されます。</p> <p>また、地域の方たちの集いの場所が必要です。</p> <p>いずれ私たちも高齢者となります。</p> <p>曾我の過疎化を防ぐためにも学校は必要です。</p> <p>校舎を残す方法を、ぜひ学識者と一緒に考えていきたいです。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
45	<p>長い歴史のある小学校がなくなるのは、いたたまれないです。</p> <p>自分の子供たちが巣立ってきた場でもあり、小規模ながら楽しかった学校生活の良さを思い、自分の子供にも曾我小学校に通わせたいという思いがあると思います。</p> <p>自分の孫もこれから入学するタイミングで、なくなるかもなんて悲しすぎる。</p> <p>(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
46	<p>もし曾我小学校がなくなってしまうとなると、本当に寂しいです。</p> <p>小規模校だけど、稲作体験や野菜作りなど、他では味わうことができないことができます。</p> <p>子供の情緒教育になったと思います。</p> <p>広域避難場所としてもなくてはならない場所だと思います。</p> <p>何とかして、別の形でも存続を希望します。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
47	<p>3人の子供がお世話になった親として、その思い出いっぱいの小学校がもしなくなることになったら、とても悲しくそして寂しいです。</p> <p>万が一、曾我小がなくなることになったら、</p> <p>1 跡地の活用方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級に特化した、少人数制の学校の運営 ・学校の空き教室を地域活性化のコミュニティ団体に格安で貸出しする ・民営化も視野に入れ、放課後児童クラ 	C	<p>学校制度の見直しや他の施設の複合化も含めた、地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>ブの導入など。支援の必要な子供たちの放課後の居場所づくりなど</p> <p>2 曾我地区在住の小学生の通学方法（通学バスなど）が確実に保証されること。事実上、低学年の通学は無理がある。</p> <p>以上2点を私の意見としてあげさせていただきます。(P37)</p>		
48	<p>曾我地区は、自然が多くとてもいい環境です。</p> <p>地域の方たちも温かい方たちが多く、子供たちも未だに本当にかわいがってもらっています。</p> <p>ここに住んで本当に良かったと思っています。</p> <p>もちろん、曾我小の児童が少ないのは知っています。</p> <p>でも、それはもともと市街化調整区域で住民が増えないからで、私たち住民のせいではない。</p> <p>この曾我の自然を生かした特色ある学校にしてみてもどうでしょうか。特認校とか。</p> <p>そうすれば学校も維持できる。何せ児童がいなきゃ始まらないですからね。</p> <p>(P37)</p>	C	<p>小規模特認校の今後の方向性を含め、地域単位の具体的な配置計画については、地域の実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
49	<p>自分はこの曾我で生まれ育ちました。父親もこの曾我で育ちました。</p> <p>父親は、子供のころから両親が働いていたので、小さい頃は地域の方たちが面倒をみてくれていました。</p> <p>本当にこの地域の方たちの温かさに助けられた、と言っています。</p> <p>地域の方たちが、みんなで子供たちを育ててきた、そう言っても過言ではありません。</p> <p>この地域の小学校がなくなるのは、本当に嫌です。</p> <p>何か、校舎を残して、存続していく手立てはないのでしょうか。</p> <p>ご検討をお願いします。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
50	<p>曾我支所もなくなって JA もなくなって、まさに過疎化。</p> <p>住んでいる住民としてはとても不安です。</p> <p>曾我小に在学している児童の親からは、子供の人数が少なすぎるからその中から気の合う友達を探すのが大変だという話も聞きます。</p> <p>もちろん、手厚い指導が行き届いている、といういい面もあります。</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、子供たちにとって望ましい「学びの規模」を考慮した上で、地域の実情等も総合的に勘案し、基本計画の中で検討していきます。</p>

	<p>地域コミュニティの場として残してもらえるといいと思いますが、運営が地域となると、維持費がどこから出るのかとか、どこまで行政が力を貸してくれるのかが分かりません。</p> <p>なかなか全てを理解できていないので、いい意見が言えませんが、地域の一住民として、「曾我小学校は地域のコミュニティの大切な場所です」という思いだけは伝えます。(P37)</p>		
51	<p>曾我地区には、曾我小学校はなくてはならない存在です。自治会としては、</p> <p>①地域防災の中心拠点（広域避難所・地域防災訓練場所・防災倉庫） ②自治会運営の拠点（会議・諸行事の開催場所） ③地域コミュニティ活動の拠点（地区体育祭・運動会・PTA バザー・地域サークルの活動場所）</p> <p>の3点が曾我小学校の役割と考えています。この曾我小学校がなくなってしまうと、これらが曾我地区からなくなり、曾我地区の存続に大きな影響を与えてしまいます。また、曾我支所の廃止によって、曾我地区は行政サービスが低下しています。</p> <p>従って、曾我小学校の存続を、児童数の適正規模から考えるのではなく、曾我地区の特性から考えていただきたいと強くお願いしたいと思います。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、子供たちにとって望ましい「学びの規模」を考慮した上で、地域の実情等も総合的に勘案し、基本計画の中で検討していきます。</p>
52	<p>曾我地区には、曾我小学校はなくてはならない存在です。自治会連合会としては、</p> <p>①地域防災の中心拠点（広域避難所・地域防災訓練場所・防災倉庫） ②地域コミュニティ活動の拠点（地区体育祭・運動会・PTA バザー・地域サークルの活動場所） ③自治会運営の拠点（会議・諸行事の開催場所）</p> <p>の3点が曾我小学校の役割と考えています。この曾我小学校がなくなってしまうと、これらが曾我地区からなくなり、曾我地区の存続に大きな影響を与えてかねません。また、曾我支所の廃止によって、曾我地区は行政サービスが低下しています。</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、子供たちにとって望ましい「学びの規模」を考慮した上で、地域の実情等も総合的に勘案し、基本計画の中で検討していきます。</p>

	したがって、曾我小学校の存続を、児童数の適正規模から考えるのではなく、曾我地区の特性から考えていただきたいと強くお願いしたいと思います。(P37)		
53	曾我小の子供たちは、少人数ではありますが、とてものびのびと育っていると思います。 田植え他、地域の方々の協力もあり、ここで経験できることがたくさんあります。小学校の行事には地域の方々が訪れ、また地域の行事には子供たちが参加し子供と大人の交流もあります。小学校のためだけでなく、地域のためにもぜひ存続をお願いします。(P37)	C	地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。
54	曾我小学校は先生と生徒との繋がりが深く、全学年全ての生徒の名前、顔を覚えて下さっている先生がほとんどで、コミュニケーションを取ることが苦手な子供でも、担任以外の先生方とも仲良く出来る素晴らしい環境です。 また、他の小学校では経験出来ない事を学べる学校で、稲作は土作りから学び、子供達が自ら害虫駆除や米を沢山収穫出来る方法を調べ、考えて行動する事が出来ます。このように自ら学ぼうとする力は少人数だからこそ、自分達で何とかしなければいけないという責任感を得る事も出来ると思います。 さらに子供達だけでなく、住民にとっても小学校は大事な場所です。日常、子供と生活していない地域の方々が下校時の子供達に話し掛けて下さったりして、お互いが色々な年齢の方と関わる事が出来、地域全体が大きな三世代、四世代家庭の様になっています。 安全面からも、曾我地区は高齢化が進む中、土砂災害特別警戒区域、警戒区域があり、小学校は広域避難場所として利用されている大事な場所となっています。このような、子供達にとっても、大人達にとっても、唯一無二の存在である小学校を無くす事はしないで欲しいです。(P37)	C	地域単位の具体的な配置計画については、子供たちにとって望ましい「学びの規模」を考慮した上で、地域の実情等も総合的に勘案し、基本計画の中で検討していきます。
55	小田原市曾我小学校の良さは、少人数ならではの他学年や先生たちの交流が他校に比べ多く、どの学年も仲の良いところだと思います。 5年生を中心に稲作体験もあり、毎年獲れたもち米が給食のおこわとして出ます。 最近では、給食のご飯がどこかの業者か	C	子供たちにとって望ましい「学びの規模」や地域の特色を生かした学校づくり等については、今後、各地域の状況等も踏まえて基本計画の中で検討していきます。

	<p>ら届くのではなく、学校で炊いているようです。</p> <p>子供はとても美味しいと喜んでおり、そういうのは少人数ではなければ出来ない良さでもあるかと思えます。</p> <p>地域の方たちも協力的で、おやじの会では里芋、さつまいもなど収穫していただき、それをPTA行事の曾我っこフェスティバルで豚汁、焼き芋として出してくださいました。</p> <p>先日行われた曾我っこフェスティバルでは、少人数の学校ですがたくさんの方たちがイベントに来てくださいました。子供たちもそして地域の方たちもとても楽しそうな印象でした。</p> <p>千代中吹奏楽部のみなさんもスペシャルイベントとして演奏をしていただき、大変盛り上がりました。</p> <p>子供の人数は少ないですが少ないのは少ないなりの良さがたくさんあるかと思えます。(P37)</p>		
56	<p>曾我小学校は、曾我地区において非常に大切なものであり、必ず存続させてほしいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曾我地区の中心的存在であり、住民にとって心のよりどころである。 ・防災上の避難拠点である。 ・曾我小学校の存続が曾我地区の命運にかかわる、 <p>よろしく願い申し上げます。(P37)</p>	C	<p>地域単位の具体的な配置計画については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>
57	<p>令和4年10月、曾我小学校運営協議会では、小田原市で「新しい学校づくり検討委員会」での議論が進んでいることを受け、曾我小や曾我地域の課題を知るための記述式アンケートを実施しました。</p> <p>「自治会内で書けそうな方をお願いします」とお伝えし、各自治会長さんに用紙を託して依頼したところ、33名の方にご協力いただきました。さまざまなご意見をお寄せいただいた中で、次のようなお考えが多数ありました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域防災・地域活動の拠点として、曾我小学校を存続させてほしい ②稲作など今行っている曾我地域のよさを生かした教育を続け、新しい学校の在り方に生かしてほしい ③曾我小の小規模校が持つ良さを積極的に生かして存続させてほしい ④他施設との複合化なども考え、新しい 	C	<p>地域単位の具体的な配置計画や地域の特色を生かした学校づくり等については、地域のニーズや実情等を踏まえ、基本計画の中で検討していきます。</p>

<p>時代における学習の充実と地域の自治や生涯教育の拠点としての併用を</p> <p>⑤地域の課題解決を望むご意見</p> <p>⑥小規模校の課題に向き合い、安心して学べる環境作りを</p> <p>これらの意見を参考に、学校運営協議会では地域の有志とともにさまざまな場面を設けて学習したり、意見交換を行ったりしてくださっています。</p> <p>昨年度実施したこのアンケートを見て、学校長としては、特に⑥の「小規模校の課題に向き合い、安心して学べる環境作りを」という声が複数寄せられていることに注目しました。また、学校では時を同じくして、曾我小の「小規模・少人数下での課題と対策」について検討会を行っているところでした。そこで、令和5年度は、曾我小の小規模校として特に重視したい課題として『関わる力』と『表現力』を学校経営の重点にしました。</p> <p>曾我っ子の小学校卒業後の姿を見据え、健全なコミュニケーション能力を育み、大人数の前でも堂々と自分の考えを伝わりやすく表現できる力をつけさせ、中学校でものびのびと学び、生活できるようにしてあげたいと願い、教育活動を工夫しています。</p> <p>パブリックコメントの提出にあたり、今在校している子供たちが使うとしたら、どんな学校が魅力的かという視点で考えました。先ほど挙げた小規模校の課題解決を中心に、特に『関わる力』と『表現力』を豊かに育む教育環境についての意見を書きます。</p> <p>《関わり場の場・さまざまな表現活動を支える場》</p> <p>今年度の曾我小では、国語や音楽などの学習成果を他学年に公開し、評価をしてもらう場面も持つ取組を多く行っています。『関わる力』を育むことが目的です。体育館などで行っていますが、体育施設のおまけのようなステージ機能ではなく、体育館のような大きさはなくても、ICT設備も含め『文化活動を主体』に設計され、多くの子供や大人が集える場所があればどんなによいでしょうか。</p> <p>《『文化活動を主体』にした施設のイメージ》</p>	
--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・教室3つ分+α程度の広さ。天井の高さも教室程度だが空調はある。(曾我小では現状の校舎を生かして実現可能かも知れない) ・前には小さな演劇を上演可能な照明と音響が備わった舞台。 ・季節にかかわらず、全校児童で集い、ゲストも招き、お互いの取組を紹介しあい、評価をもらうことができる。 ・オンラインで、こちら側の様子や成果を見やすく伝える装置と、送信されたものをきれいに映し出す装置等、オンライン学習を充実させる施設がある。 ・壁面に複数の大型モニター(可能ならば電子黒板があり)子供はデジタル、アナログの成果物を映し、ポスターセッションをしたりできる。 ・お互いの声ははっきり聞き取り合える壁面等の配慮。 ・この施設では文化活動だけではなく、WBGTが基準を超えた日や雨天時も、種目を選んで体育等を快適に行えるとします。 ・子供にとっても大人にとっても「あの場所で行いたい」という場所を用意してあげたい。 <p>-----</p> <p>◎こうした設備を活用し、さまざま方法を使って自分の考えを表現したり、相手に分かりやすくプレゼンテーションしたりする力を育み、穏やかな曾我っ子に、生きる力と自信を持たせてあげられれば素晴らしいことです。よい発表ができる施設でより高いモチベーションが持てれば、地域の方をはじめ、いろいろな人に向け子供が進んで発表したくなると考えます。</p> <p>◎この子供たちの関わる力と表現力を伸ばす施設は、地域の自治や生涯教育の拠点、また、小田原市民のデジタル活用(コンテンツ作成など)も含めた文化活動を支える新しいタイプの施設としても併用できるのではないのでしょうか。また、100人程度の観客を想定した演劇や音楽の発表を気軽に行うことができ、スポーツ中心の『学校施設開放』を、文化面でも充実させる施設となれば、卒業後の子供たちにとっても魅力ある「生涯学習の場」となると考えます。</p> <p>◎もし将来、曾我小が市内から広く子供を受け入れるタイプの学校として存続していくのであれば、「稲作をはじめと</p>	
--	--

	<p>した豊かな実体験＋ICT活用」を特色にしていけると考えます。ICTを活用してコンテンツを制作したり、オンラインで発表したりする場合、素材が子供の実体験であれば、誰もが高い意欲をもって取り組むことができます。また、将来の生きる力として必要だと分かっているにもかかわらず計画的に行えないプログラミング的思考の育成も、小規模の特性を生かし、ICT活用と一緒に6年間の計画をしっかり立てて行っていけると思います。地域アンケートでは、オンライン・ICTを積極的に活用し、小規模校の課題を乗り越えて欲しいという意見や、小規模校として、先進ICTのパイロット校を担い、市の役に立ってほしいといった意見がありました。</p> <p>推進計画全体は素晴らしいものだと思いますが、学校規模による機械的な判断はさけていただき、地域の特色・現状をご理解いただければありがたいです。曾我地域では、学校運営協議会の方々や地域の有志の皆様が曾我小の未来と地域の未来を真剣に考え、意見交換会や、神奈川大学の地域デザイン研究に積極的に協力し、自らも学ぼうとする前向きな姿勢が見られます。</p> <p>小田原市全体のために曾我小や曾我地域の良さを生かしていただく方向でご検討いただくことを願っております。</p> <p>(P37)</p>		
58	<p>斜めの関係は重要です。学校だけが居場所だと、辛いことがあった時に逃げ場がなくなります。(P41)</p>	C	<p>学校だけでなく、地域や民間も含めた「つながり」や「居場所」づくりについて、基本計画及び整備指針の中で検討していきます。</p>
59	<p>人口の減少・経済規模の縮小を考えれば、小中学校統廃合の方向性も否定できませんが、義務教育を考えれば、全ての子供たちは教育を受ける義務があり、それは平等な環境で教育を受ける権利だと思います。将来的に統廃合を実施する場合は、地域との合意形成と丁寧な説明を行うとしていますが、この点については、十分な時間をかけての説明と地域から出された意見を反映する方策を施していただきたいです。(P45)</p>	C	<p>御意見を参考に、合意形成プロセスの具体的な手法について検討していきます。</p>
60	<p>(図の中で)学校施設中長整備計画を中長期整備計画という、としているのに学校施設中長整備計画を使用しています。(P49)</p>	A	<p>御意見を踏まえ修正します。</p>

(2) その他に関すること (7件)

	意見の内容	区分	市の考え方 (政策案との差異を含む。)
1	<p>中学校の制服を廃止して頂きたいです。ジェンダーフリーや個性尊重のこの時代に、戦争を彷彿とさせる軍隊のような制服があること、制服屋との癒着問題など、学業を学び社会に繋げようとしている子供達の自立心を育てる場にふさわしくないです。</p> <p>教員によるわいせつ問題や痴漢など、社会の性暴力に対しても、スカートや透けるブラウスなどを強制的に着用させること自体性暴力に値します。</p> <p>その他、お金が掛かる、使用期間が限られ私服のようにリサイクル出来ないなど、家計にも地球にも良いと思える物がありません。</p> <p>不要な物を廃止しないから必要な物が得られないのです。</p>	D	新しい学校づくり推進事業は、学校施設とそれを取り巻く運営面等を検討するもので、制服についての検討は想定しておりません。
2	<p>私の子供は、通学路にて青信号の横断歩道を歩いている途中信号無視の車にぶつけられ大怪我をしました。</p> <p>事故後、学校にこのような交通事故の再発防止策としていくつか提案をさせていただきました。その一つは、この事故を他の保護者の方に共有をして、注意喚起を行なっていただくことでした。</p> <p>学校側の反応は薄く、保護者には余計な心配をかけたくないので本件は共有をすることはしないとのことでした。</p> <p>その後、別の交差点にて、子供の事故のケースとほぼ同様の事故が発生しました。事故の被害者は同じ小学校に通う児童でした。子供の事故のケースが保護者の方に共有されていれば、こういった同様の事故は防げたのではないかと考えています。</p> <p>子供の事故は隠秘とでも取れるような対応をされたのに、今回の事故はすぐにさくら連絡網で保護者の方全員に共有をされました。どうして対応が異なったのか。今回は保護者の方の反応が強かったためか、保護者の反応で公表をするかどうかを決めるのか。他にもこういった事件や、事故を隠してきたのではないかと。いろいろな疑ってしまいます。</p> <p>小田原市新しい学校づくり推進基本方針 (素案) の31ページのアンケートで</p>	D	通学路の安全対策については、御意見を参考に、引き続き学校と連携しながら取り組んでまいります。

	<p>は、「これからの学校施設に期待する機能」の回答として92%が「安全・安心な学校」であることを小学校に求めています。</p> <p>保護者の反応の強弱など、周辺状況によらず一律で事件や事故を共有して、再発防止につながるような対応をしていただきたいです。</p> <p>是非とも「安全・安心な学校」学校づくりをしてほしいです。</p>		
3	<p>小学校までは体育で帽子が必須なのに中学校からは炎天下で帽子なしです。必須にしてください。熱中症対策を強化してください。帽子着用可だけでは足並みが揃いません。どうか子どもの命を守ってください。</p>	D	<p>熱中症対策については、御意見を参考に、引き続き学校と連携しながら取り組んでまいります。</p>
4	<p>主体的に取り組む手段として図書と司書の充実をお願いしたいです。大人顔負けの専門分野に興味を持つ子供達はたくさんいます。そういった子供達と対面で語り合い、専門書や興味を広げてくれる本と繋げてくれる専門家が身近にいればなあとずっと思っています。実現は容易ではないでしょうが、ICTだけ頑張っていて満足しないしてほしいです。</p>	D	<p>「第4期小田原市教育振興基本計画」基本施策4-(4)-②において、「読書活動の充実」を掲げ、学校司書を全小中学校へ配置し、学校図書の充実について取り組んでいます。</p>
5	<p>私が働いている山北もかなり人口が減っていて子供も少なくなっています。</p> <p>これからの事を考えてか、山北高校の近くに2階建てのおしゃれな住宅(町営住宅)が昨年でき、入居の条件が子育て世代、との話です。</p> <p>曾我は、小田原の端っこですが、のんびりした、自然のあるとてもいい環境で、子育てはしやすい環境だと思います。</p> <p>曾我にもそんな住宅ができたらうれしいです。</p>	D	<p>市営住宅の所管課に情報共有いたします。</p>
6	<p>今は、外に出ています子供が小学校に入学するタイミングで曾我地区に戻ってくる人が多いように思えます。</p> <p>自分や親族の土地があるのに規制があってなかなか家を建てられない。</p> <p>そこに問題があるのではないのでしょうか？</p> <p>難しいですが、鬼柳の一角にリバーサイドマンションを建てたら、子供が増えるよね～なんて。</p>	D	<p>都市計画の所管課に情報共有いたします。</p>
7	<p>本方針は、市内の学校施設が老朽化し、今後の人件費を含めた運営費用については、現状を維持していくには財政面の負担が耐えられないことが最大の要素として作成されたものと解釈してよい</p>	D	<p>本基本方針は、施設の老朽化や今後の財政負担等も含めた学校を取り巻く現状と課題や、本市の教育の目指す姿を踏まえ、子供たちの未来にとって望ましい教</p>

	のでしょうか。		育環境の基本的な考え方を示すことを目的に策定しております。
--	---------	--	-------------------------------